

第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立東淀川支援学校
(准)校長名	鈴木 克彦

開催日時	令和元年11月22日(金) 10:00 ~ 12:00
開催場所	大阪府立東淀川支援学校 校長室
出席者(委員)	田原委員 岩下委員 末浪委員 岡委員
出席者(学校)	鈴木校長 久井教頭 川村教頭 加藤事務長 石田首席
傍聴者	無し
協議資料	平成31年度学校経営計画、令和2年度採択予定教科用図書一覧
備考	協議時間内に東淀川まつり予行練習(生徒の舞台発表)の観覧も行う

議題等(次第順)	
1. 令和2年度採択予定教科用図書について	
2. 平成31年度学校経営計画進捗状況について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>1. 令和2年度採択予定教科用図書について 資料と現物(一部)を参照しながら説明および報告し、了承を得た。電子教科書が児童生徒の学習に有効で教材としても優れているので、選択肢のひとつに加えてはどうか、との提案を受けた。選定教科用図書のリストに電子教科書が挙げられていない現状を鑑み、ニーズに応じて家庭学習等で使用できるのではないか、との意見が出された。</p> <p>2. 平成31年度学校経営計画進捗状況について 学校長より項目ごとに述べ、課題はあるものの概ね計画どおりに進んでいる現状を報告した。併せて、年度当初に起きた生徒指導事案の経過と、現在も指導中であることを報告した。 学校経営計画の進捗状況について了承され、生徒指導事案については、今後も同様の事案が起きる可能性を指摘され、不適切なインターネット利用によるトラブルなど、生徒の身近にある課題に特化した専門的な対応が必要、との助言を受けた。そして、行動上の問題のある生徒には、問題を指摘するだけでなく、何故そのようなことをしてしまったのかを理解した上で教育機関として指導するようとの助言を受けた。併せて、スクールソーシャルワーカー(SSW)との連携が有効であり、本校には配置されていないことを踏まえ、巡回を要望すればどうかとの提案を受けた。 各家庭のライフスタイルの変化に伴う放課後等デイサービス利用者増の現状について、様々な事例が挙げられ、活発な意見交換がなされた。福祉と教育の連携が必要であると謳われながらも、それがなかなか実現していない現状を踏まえ、学校の方針や考え方などをもっと明確に発信する方がよい、との提言があった。 開かれた学校づくりの観点から、保護者の授業参観の機会と、通学区域の小中学校の教員など地域の方々が参観する機会を増やしてほしい、との要望が出された。併せて、本校ホームページの内容の質と量についても問われた。ホームページを使った情報発信を強め、より積極的な情報公開に努めるようとの助言を受けた。</p>	

次回の会議日程	
日時	令和2年 2月 27日(木)10:00~12:00
会場	大阪府立東淀川支援学校 校長室